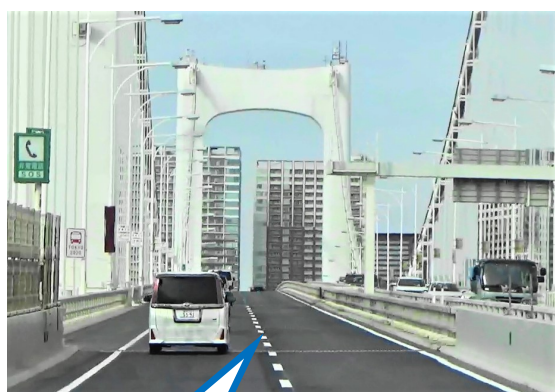
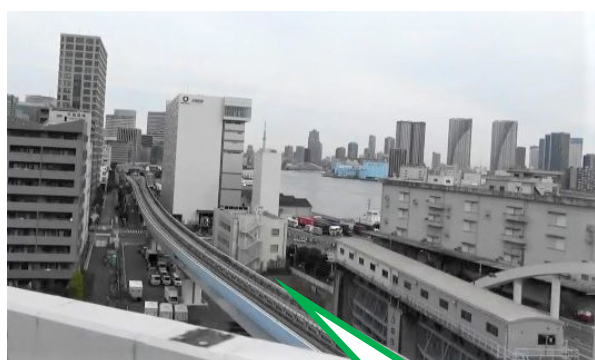


# SSKS 風の子便り

ひとりぼっちの障害者をなくそう



③日の出駅  
の目の前！  
ここが新天  
地「平成ビ  
ル」



②ゆりかもめ「日  
の出」  
出駅「も見  
える！」



高速から見た実習所

## 目次

☆移転します！	2	☆2021年はどうなるの？（Yuki）	7
☆活動報告	3	☆敬事の料理コーナー	7
☆工房ぶらす	4	☆なつかしのアルバム	8
☆「小野塚、今度は盲腸らしいよ？」		☆運営委員会報告	9
第4回（小野塚）	5	☆退職職員のあいさつ・新職員の紹介	10
☆「人生初めてお酒を		☆職員募集	11
チャレンジしました。」（島田）	6	☆寄付のお礼・所長のため息	12
☆寒波が襲来して日本海側・東北地方・			
北海道は積雪が1メートル～3メートル（三木）	6		

2021年 2月号

## 引っ越しま〜す！！



カナルサイド高浜を離れて日新ビルに辿り着き、そこもまた離れて行き着いたのが、ここ平成ビル。ここでまた、令和の新しい風の子を築き上げるべく、メンバーと職員で頑張っていくので、応援よろしくお願いします。

引っ越し予定は2月27日から3月1日。翌2日から新しい風の子の始まりです。

～ 新住所 ～

〒105-0022 港区海岸 2-6-29 平成ビル 5階



## 活動報告

（12月18日～1月16日までの活動）

- ①12月19日、運転手の城川さんがおやめになりました。
- ②12月21日、職員として佐々木さんが入りました。
- ③12月23日、僕と掛橋さんと職員の木村さんとボランティアの中嶋仁さんの4人で健康診断に行きました。
- ④労働組合からノートパソコンをもらいました。そのぞうていしきを「12月23日」にしました。
- ⑤12月25日、小林さんのお別れ会をしました。
- ⑥12月26日、企画だけで会報の読み合わせを行いました。
- ⑦12月28日、工房の皆さんは今年最後の仕事も内職をしていました。
- ⑧1月8日、新しいミキサーが届きました。



小熊さんは寄贈されたパソコンで記事を書いています。



朝生さんが小林さんに手紙を渡している様子です。

その他

企画の皆さんでカレンダーを送りました。ストレッチャーが届いたのですがサイズが合わないので返品をしました。

メンバー 島田龍司





## 工房ぶらす☆

（12月22日～1月23日までの工房報告）

### 1月の主な活動

- ① 明け早々4日から引き続き区内事業所のPRキッドの製作に取りかかる。担当はハガキをクリスタルパックに入れる作業は小熊、広瀬。不要なハガキを葉にカットしたり穴を開ける作業は掛橋が行いました。あらたに葉に花や音符などの様々な穴を入れる作業を朝生、斎藤。緩衝材をクリスタルパックに入れる作業を小熊が行いました。19日現在560セット約半分が完成しました。
- ② 牛乳パックを利用した手透きハガキの製作はいつも戻り斎藤、朝生、野田の3人が中心になって19日現在907枚が完成しました。

メンバー小熊健



工房の手伝いで内職の手伝いをしてくれている島田君（ハガキの選別をする）

## 牛乳パック募集

風の子会では、牛乳パックを使用して主力製品のひとつである「はがき」を作って販売しています。しかし、その牛乳パックが不足しており困っています。そこで皆様からの牛乳パックを大募集しています！！どうかよろしくお願い致します！（牛乳パックは開いてお持ちいただけると助かります。）

特定非営利活動法人 風の子会  
〒108-0022 東京都港区海岸 3-3-18  
芝浦日新ビル5階  
TEL:03(6809)4001

## 「小野塚、今度は盲腸らしいよ？ 第4回」

術後1週間、身体は徐々に回復段階にある。尿道カテーテル解除の2日後には点滴も外れ、あとはもう退院を待つだけになった。日中はベッドから起きて車イスに座っているようにして、病院食はほぼ毎食完食し、夜は睡眠導入剤を服用して必死に寝た。そして入院からちょうど2週間が経った8月7日、ようやく退院となった。梅雨はすっかり明けていて、真夏の陽射しが容赦なく身体を照りつけていた。

2週間の入院は想像以上に体力を衰えさせていた。退院直後は足腰に力が全く入らず、立ち上がることもできなかった。父の厚い支えを受けながら必死に回復を図った。

退院から2、3日後にビールを飲んでみた。「たしなむ程度ならいいでしょう」と医師の確認は得ていたので、とりあえず1缶だけ口をつけてみることにしたのだ。2週間ぶりのビールは泣けてくるほどうまかった。けれどたった1缶なのに全身が異常なほどに火照ってきて、動悸はやけに激しくなってきた。起きていられないほどの酩酊状態になってしまい、自分の体の変調ぶりにひどく狼狽した。後日医師に聞いてみたところ、手術中に投与した抗生剤が肝臓を激しく傷つけ、一時的に酒に非常に弱くなってしまっているらしかった。肝臓が回復すればまた普通に飲めるようになるとも言われ、その間必死に耐えた。退院から10日後、手術前と同じように夜のビールをまた4缶飲めるようになった。飲めるようになったことで体力的自信もかすかに回復した。

人は皆、いつか必ず生命を終える。だからなるべく、生きている間は死なない程度の病気にはならないほうがいい。そのためにはよく食べてよく寝て、適度に身体を動かし、健康的な生活を心がけるべきだ。

今回の盲腸体験を通して、そんなことを強く痛感した。了  
小野塚 航

退院して





## 「人生初めてお酒をチャレンジしました。」

1月4日、僕は家族と一緒にお酒を飲みました。1番最初に飲んで見たお酒は紹興酒を少しずつ飲んで見たのですがあまりにも紹興酒の匂いがすごかったので飲むのをやめました。後はレモンサワーも飲みました。レモンサワーを1口飲んだ瞬間顔が赤くなってしまいました。結局はレモンサワー3口で飲むのをやめました。紹興酒を飲んで見た



感想はとても苦かったです。レモンサワーはとてもすっぱい味がしました。それでもまた飲むきっかけがあったら違うお酒も飲んで見たいです。

僕はレモンサワーを飲むのはまだ早かったようです。

メンバー島田龍司



## 寒波が襲来して日本海側・東北地方・北海道は

### 積雪が1メートル～3メートル

屋根に降り積もった雪卸しもひと仕事のようなようです。この時季気をつけないといけないのがヒートショックです。自室（リビング）・廊下・浴室（脱衣場）の寒暖差が激しいので高血圧の人は（自分含めて）は脱ぐ前に周囲を暖めてから次の行動をとるようにしたいものです。

メンバー：三木直人



## 2021年はどうなるの？

昨年は1年中「新型コロナウイルス」が感染が広がり、世界各国や日本各地で感染拡大して大流行した。この対策が分からない為、日本政府は「緊急事態宣言」を4月から5月にかけて出され、その要請は「外出自粛」「居酒屋やナイトクラブ等」は休業とする。

さらに【手洗い、消毒、うがい、体を清潔にする事、マスク着用など】【人と人との接触を避ける】という条件である。

そうしたら去年、日本で開催される予定だった【東京オリンピック・パラリンピック】が1年間延期され、この年のイベントやお祭りなどが中止となりつまらなく辛かった。

未だにその治療薬やワクチンは開発されていない。この冬はコロナウイルスとの我々人間との闘いは続きそうだ！

今年に入り、コロナの感染者数は倍から3倍と感染者数が増え、毎日の様に過去最多を更新していた。この為、1月7日に政府は2回目の【緊急事態宣言】が出され、前回とほぼ内容は同じだが、経済的負担にならないようにと【飲食店など】は午後8時までの営業となった。【外出自粛も午後8時以降】になった。これからどうなることやら心配です。

メンバー Yuk

i



## 「敬事の料理コーナー」

### 「納豆と枝豆腐丼。」

作り方

- ①ライスの上に納豆とエダマメ絹豆腐を載せてサーモンフレークかける。
- ②ポン酢をかける。
- ③出来上がり。

風の子会メンバー柳川敬事







## 風の子・なつかしのアルバム

### 芝浦日新ビルで、内職とホームページ作りと40周年パーティー

このときから、ホームページを本格始動しボランティアの美馬さんからメンバーの僕たちに教えてくれたときの写真と、内職をしている写真と40周年の時の写真です。今月末（2月）で芝浦日新ビルを引っ越すことになりました。

メンバー 田中 聡







## ～ 運営委員会より ～

運営委員会とは、会長に選任された運営委員で構成され、会の運営に関することを話し合っている機関です。運営委員にはメンバーも職員もボランティアも含まれていて、月に1度集まって様々なことを話し合っています。

2021年1月の運営委員会内容

### ・ 緊急事態宣言対応

→政府の緊急事態宣言発出を受けての風の子の対応としては、都と区から具体的要請があれば従い、要請がなかった場合はこれまでの警戒体制を継続しながら活動することにした。

### ・ 移転関連

→2月27, 28日 平成ビルに引っ越し

3月1日 風の子お休み

### ・ 職員状況

→職員の退職予定と採用発表と募集状況の報告があった。

### ・ 防災備蓄品

→ランタンの連続使用は約50日電池が保つことがわかった。

段ボール式ベッドを購入した。割と簡単に組み立てることができた。試しに寝てみたら結構心地よかった。



### ・ キャブ

→すばるキャブが使用できない代わりに、6年契約のリースでキャブを借りることにした。

これらについて話し合いました。

文責 運営委員・小野塚



## 退職職員挨拶

風の子会にいて・・・



いつも慌ただしく何かに追われ、一日終わっていました。風の子は利用者3に対し職員1と言う風に、色々な人に眼と気を配る仕事ですが、慣れてくるとそれも苦にならない、むしろ、最低限のルールを守れば、ザックバランに利用者・職員の垣根を越えて話をしていましたね。介護社会ではとても珍

しいことではないでしょうか。この体験は家庭にも影響を与え無意識に助けられていたと思っています。今も、これからも大変な仕事には変わりありませんが、なくてはならない存在ですね。

5年半、勉強させて頂きありがとうございました。益々のご活躍を応援しております。

小林雅子

## 新職員インタビュー

——お名前は？ ●●●：●●●です。

——出身はどこですか？ ●●●：中国の大連です。

——どうして風の子会に？ ●●●：働きたかったから。ハローワークで薦められました。

——風の子会の印象や目標など ●●●：初めて見たときはびっくりした。いっぱい役に立ちたいです。いい雰囲気なので、長く働きたいです。



### 風の子会職員募集

電話で応募 03-6809-4001 風の子会高浜生活実習所 担当 井出

選考 履歴書と実習2～3日（実習手当、交通費支給します）面接

募集要項 以下の2件

#### 1 フルタイム

職種	生活介護支援員A	生活介護支援員B
勤務内容	勤務場所 身体障害者の通所施設（風の子会高浜生活実習所） 障害者介助、障害者の日課作業等の援助、実習所運営	
	送迎車両運行、男子トイレ介助	女子トイレ介助
資格条件	男子（64歳以下） 普通自動車運転免許 その他資格不問、経験不問	女子（64歳以下） その他資格不問、経験不問
勤務日時	日曜、木曜、祝日を除く週5日、9時～17時（1日8時間） 夏、冬休み各6日程度	
基本給	196,250円～207,400円（採用時年齢による）年次昇給あり	
残業手当	支給（平均10時間程度あり）	
業務手当	月2000円	
処遇改善手当	月12,500円	
運転手当	月20,000円	なし
通勤手当	全額支給	
賞与	夏冬 基本給の各2ヶ月分（年4ヶ月）	
社会保険	健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険、中小企業退職共済	

#### 2 パートタイム

職 種 生活介護支援員C

勤務内容 身体障害者の通所施設（風の子会高浜生活実習所）における、  
障害者介助、障害者の日課作業等の援助、実習所運営

男女それぞれ1～2名（年齢、経験不問）

勤務日時 （1）週3日（毎週火、土 + 日祝木曜を除く1日）

1日5時間 10:00～16:00

（2）週4～5日（毎週火、土 + 日祝木曜を除く2日）

1日4時間 11:00～15:00

時給 1430円

通勤手当 実費（日額上限1000円）

給与支払 毎月15日締め、25日支払い





## 賛助会(寄付)のお礼

賛助会(寄付)ありがとうございます。(12月21日～1月26日)(順不同)  
武藤 金一様 稲田 幸子様 嶋田 駿太郎・聖子様 江副 敬子様  
松岡 広恵様  
他 匿名様2名



## 所長のため息

緊急事態宣言が再び出されました。風の子会はこのところ自粛せずに活動をおこなっています。今後どうなるか分かりませんが、精一杯、頑張っていきたいと思えます。

今、工房では内職作業やPRキット（手作りの和紙ハガキ・しおりの詰め合わせ）を作成しなくてはならず、毎日とても忙しく作業をしています。コロナの影響でボランティアさんをお呼びすることが出来ないのは残念でなりません。これから引っ越しもあるので、大変な日々になりますが、みんなの力をあわせて頑張っていきたいと思えます。

5月号で賛助会の募集を行いました。皆様からのたくさんのご寄付ありがとうございます。これまでに集まった賛助会ご寄付は以下の通りです。引き続き募集しています。よろしくお願いいたします。

賛助会実績（1月26日現在） 95名 4,456,600円

### ひとりぼっちの障害者をなくそう 特定非営利活動法人・風の子会 ～定価40円～

企画編集メンバー

太田 圭子	信高 正義
太田 稔	三木 直人
小野塚 航	柳川 敬事
島田 龍司	幸 高史
田中 聡	

編集人：【高浜生活実習所】生活介護、就労継続支援B型  
〒108-0022

東京都港区海岸3-3-18 芝浦日新ビル5階

TEL 03(6809)4001

FAX 03(6809)4002

ホームページ：<http://www.kazenokokai.or.jp/>

e-mail：[kazenoko@kazenokokai.or.jp](mailto:kazenoko@kazenokokai.or.jp)

発行人：障害者団体定期刊行物協会

東京都世田谷区祖師谷3-1-17

ヴェルドゥーラ祖師谷102